

まゆだま

2012. 10. 29 発行
No. 359

二〇一二年 度 十 一 月 号



連絡先：高田（八王子一小）
東京歴教協 八王子支部

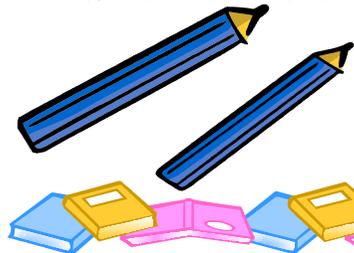
～ 10月例会は浅川地下壕の保存をすすめる会との共催でした。八王子市立陶鎔小学校の北200mほどの山中にB29の爆弾によってできた穴が今でも残っていることが今回のテーマでした。八王子歴教協は小学校の授業実践中心に毎月の例会を続けていますが、この爆弾跡が地域教材としてこれまで取り上げられたことはありませんでした。陶鎔小学校には歴教協のメンバーがいなかったのですね。こうした研究会活動を通して、歴史の事実は戦後67年の今も、掘り起こされています。～

10月例会報告：「犬目町爆弾跡調査報告・講演」

初めに、浅川地下壕の保存をすすめる会運営委員中田均さんが調査報告をしました。パワーポイントを使い、1月、2月の寒い季節に林の中の下草を刈り払ったり、メジャーを引っ張って測量したり、図面に記録したりという調査の様子をたくさんの写真で紹介しました。

そして、完成した測量図と対応させながら13ヶ所の爆弾による穴の現状を写真で紹介しました。

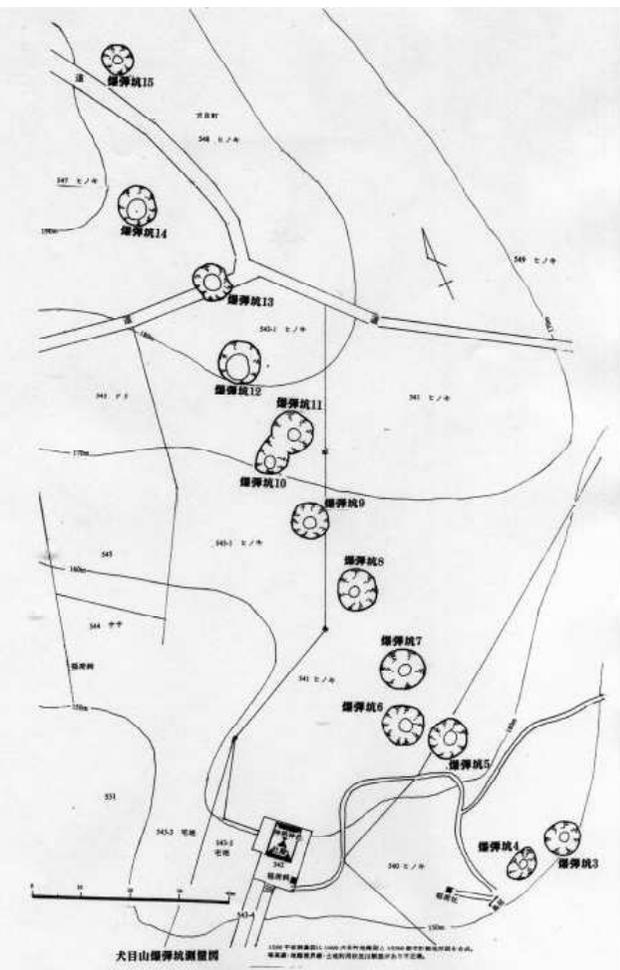
確認できた穴を地形図の上に表示したのが図-1です。南端の穴から陶鎔小学校まではわずかに200mたらずです。穴が現存しているのは、傾斜した山中だったからで、図示された南端の穴からさら



に南東側に2つ爆弾が落ちたのですが、そこは田んぼや住宅の近くだったためその後埋め戻されて穴は残りませんでした。

住宅のすぐ裏に落ちた爆弾は、家をペしゃんこにつぶし茅葺きの屋根がバサッと地面にかぶさるように落ちてしまったということでした。このことは八王子市教育委員会発行の『八王子の空襲と戦災の記録』の総説編にくわしく載っています。

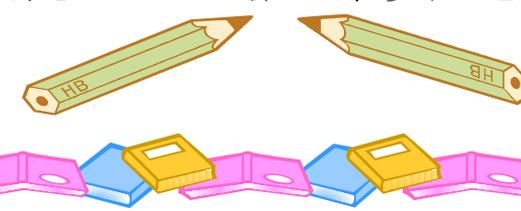
調査報告は、浅川地下壕の保存をすすめる会の会報『Peace あさかわ』87号に詳しく載っています。またこれは、同会のホームページでも見ることができます。ホームページは「浅川地下壕」で

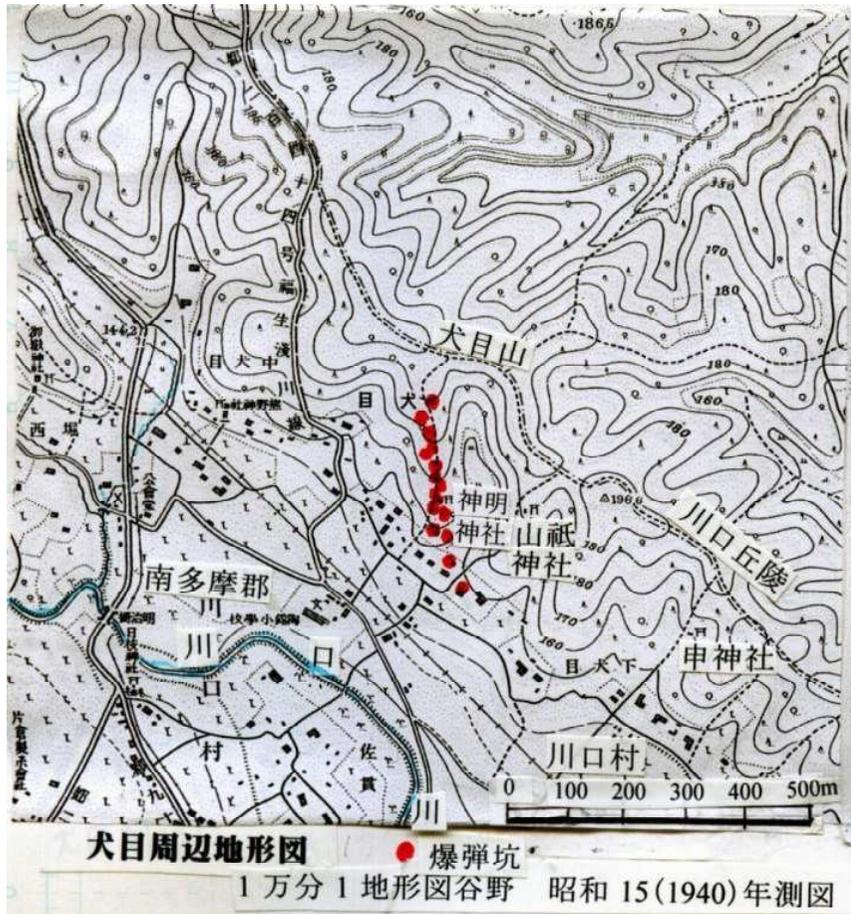


爆弾坑 3	円形5.9×5.9m	深さ0.9m
爆弾坑 4	長円形7.0×4.8m	深さ0.8m
爆弾坑 5	円形8.2×8.0m	深さ1.1m
爆弾坑 6	円形8.8×8.8m	深さ1.0m
爆弾坑 7	円形9.0×7.4m	深さ1.0m
爆弾坑 8	円形8.8×8.0m	深さ1.5m
爆弾坑 9	円形7.5×7.5m	深さ2.0m
爆弾坑 10	円形7.0×6.2m	深さ2.0m
爆弾坑 11	円形9.2×8.5m	深さ2.3m
爆弾坑 12	円形9.0×8.6m	深さ2.0m
爆弾坑 13	円形8.2×7.2m	深さ.3.0m
道にまたがる		
爆弾坑 14	円形8.4×7.5m	深さ2.0m
爆弾坑 15	円形6.6×5.7m	深さ3.5m

続いて、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会・副代表の牛田守彦さんの講演がありました。演題は「多摩地域における4月空襲――4月2日、4日の夜間空襲を中心に――」でした。犬目町に爆弾が投下されたのが4月4日の未明のことだったのです。

アメリカは戦争を遂行するに当たって作戦の立案・命令・実行の結果などを克明に記録しています。その膨大な記録をたんねんに探って、多摩の地域





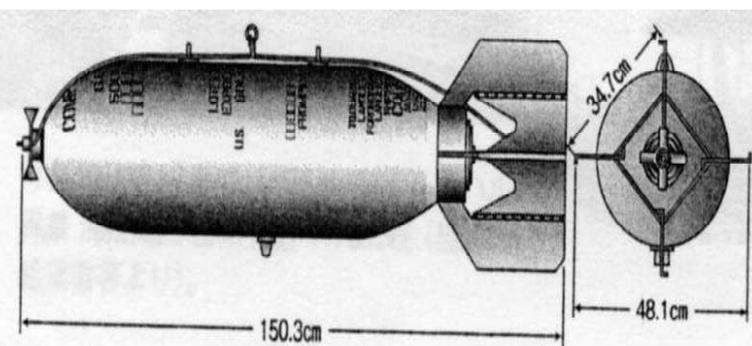
の被害の実態と照らし合わせて解明する研究を、牛田さんは長年にわたって続けてこられました。

空襲には大きく分けて三つの型があります。一つは小型の戦闘機が人や列車などを狙って銃撃するもので、いのはなトネルの列車銃撃やランドセル地蔵の話で語り伝えられる疎開児童の被害です。二つは、八王子の市街や東京の下町が焼き尽くされた焼夷弾による空襲です。三つ目は大きな爆弾で工場などを破壊するものです。犬目の爆弾はこの三つ目のタイプに入るものです。

が、工場もない犬目になぜ15発もの爆弾が落とされたのでしょうか。

アメリカ軍の記録から見えてきた4月4日の空襲の実態は、次のようなものでした。

まず大きな目的では、沖縄上陸作戦を支援することでした。具体的な戦術では、目標を、静岡の三菱発動機工場、群馬県の中島飛行機小泉製作所、立川飛行機工場の三ヶ所に定め、「夜間」、「照明弾を使う」、「低高度で」、「編隊を組まずにバラバラで」、「250キロ爆弾」というものでした。



AN-M64 500lb (227kg) G.P. 爆弾:全長59.16in (150.3cm)、弾体長さ47.1in (120cm)、直径14.18in (36cm)、重量512lb (232kg)、充填爆薬(アマトール) 262lb (119kg)。マーキング・出典はAN-M30と同じ。

この作戦は、3月24日から4月4日にかけて4回計画された「夜間精密爆撃」でしたが、アメリカ軍にとっては「失敗」とされ、この作戦は終戦まで二度と計画されませんでした。飛行機の製造工場を破壊する目的のこの作戦は、天候が悪かったこと、照明弾が効果的に使えなかったこと、爆撃照準機の性能が未熟だったことによって「失敗」だったようですが、それが結果として、工場もない犬目に爆弾が落とされる原因になったと思われます。立川飛行機を狙った61機のB29でしたが、目標を的確に捉えられず、犬目の山中や加住町、さらには日野や昭島の方など広範囲に爆弾を投下し、一般住民に大きな被害をもたらしたのでした。

10月例会はすぐに授業に役立つ内容ではなかったかもしれませんが、戦争遺跡を手がかりとした平和学習は社会科や総合学習の中で大事に取り組んでほしいものだと思います。(資料提供・記録:山梨喜正)

「浅川地下壕の保をすすめる会のホームページへようこそ。」

【<http://www.geocities.jp/takaotown/87.html>】

浅川地下壕とは、戦時中、高尾駅南にある金比羅山地下に陸軍浅川倉庫として掘られていた巨大な地下壕のことです。1997年、この浅川地下壕を戦争遺跡としての保存すること、この地に平和資料館を建設するための運動を開始しました。

地下壕内の見学案内は月に1回に限りできますので、ご希望の方は事務局宛にご連絡ください。

「浅川地下壕の保存をすすめる会」

事務局 〒252-0116 神奈川県相模原市緑区城山4-16-25
山梨喜正 気付

— 11月例会のご案内 —

【2012年 11月例会】



報告者：奥田 みやま さん (八王子市立小学校教諭)
日 時：2012年11月10日(土) 14:00~16:30頃
場 所：台町市民センター (JR西八王子駅南口徒歩12分)
内 容：小学校の授業実践報告です。日常の学級指導から、震災の学習、情報の授業、と授業のことを考えるための報告です。

※例会の詳細につきましては、事務局長の高田さん(2012年度からの勤務先=八王子第一小学校:042-642-0851)までお願い致します。